

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 ムトー精工株式会社
 コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 田中 肇
 (氏名) 竹林 隆

TEL 058-371-1100

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	17,070	△18.0	1,423	12.7	1,509	7.7	951	24.4
21年3月期第3四半期	20,819	—	1,262	—	1,401	—	764	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	128.28	—
21年3月期第3四半期	102.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	21,479	11,642	51.6	1,497.41
21年3月期	20,703	11,328	52.0	1,439.89

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 11,074百万円 21年3月期 10,762百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50
22年3月期	—	10.00	—		
22年3月期(予想)				17.00	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	△13.5	1,500	8.9	1,600	3.5	1,000	21.1	134.90

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	7,739,548株	21年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	343,903株	21年3月期	264,840株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	7,418,629株	21年3月期第3四半期	7,474,920株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成しており、実際の業績は今後起こりうる様々な要因により、異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、昨年秋以来の世界同時不況からの景気後退が依然継続し、全世界的に深刻な状況が続いております。中国など一部地域では、景気が一部持ち直してきておりますが、国内では企業の設備投資は減少し、失業率も高水準で推移するなど、依然厳しい状況が続いております。当社グループの業績につきましては、主力製品でありますデジタルカメラ、ビデオカメラ等のデジタル家電分野、ETC車載器をはじめとする自動車関連機器部品、その他プリンター部品、ゲーム機器部品等につきましては、当初の予想どおり順調に推移いたしました。

このような情勢のなか、当社グループの売上高は、プラスチック成形事業のうち主力製品でありますデジタルカメラおよびビデオカメラ等のAV関連部品につきましては、新機種製品の受注減により前年同期比38.5%の減少となりました。また、自動車関連機器部品につきましてはエアコン部品、ETC車載器および一部車種の受注増により前年同期比23.8%の増加となりました。また、精密プレス部品事業につきましては、受注全般の減少により、前年同期比13.2%減、プリント基板事業につきましても26.0%減となりました。この結果、連結売上高は前年同期に比べ18.0%減の170億7千万円となりました。

また、利益面におきましては、前連結会計年度に引き続き、内製化をはじめとするいっそうの生産効率の向上、海外生産の強化等による原価の低減を積極的に進めてまいりました結果、営業利益は12.7%増の14億2千3百万円、経常利益は前年同期比7.7%増の15億9百万円、四半期純利益は前年同期比24.4%増の9億5千1百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15億円増加し、128億8千8百万円となりました。受取手形及び売掛金が8億6千1百万円、現金及び預金が7億7千6百万円増加したことなどによります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7億2千4百万円減少し、85億9千1百万円となりました。有形固定資産が6億4千6百万円、投資有価証券が3千8百万円それぞれ減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ7億7千6百万円増加し、214億7千9百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ11億4百万円増加し、75億2千8百万円となりました。支払手形及び買掛金が16億3千2百万円、短期借入金が1億5千6百万円それぞれ増加し、未払法人税等が3億3千1百万円、1年内返済予定の長期借入金が3億7千8百万円、賞与引当金が7千1百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6億4千1百万円減少し、23億9百万円となりました。長期借入金が6億2百万円減少したことなどによります。この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億6千2百万円増加し、98億3千7百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3億1千3百万円増加し、116億4千2百万円となりました。利益剰余金が7億8千4百万円増加し、為替換算調整勘定が4億6千3百万円減少したことなどによります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、32億5千3百万円となり、前連結会計年度末より7億9千万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益14億1千万円、非資金費用である減価償却費11億4千万円、仕入債務の増加17億1百万円及び売上債権の増加9億6千8百万円、法人税等の支払6億3千6百万円等により、営業活動全体として前第3四半期連結累計期間と比べて資金が1億3千7百万円の減少から26億8千万円の増加（前年同期比+）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産の取得による支出7億2千8百万円等により、投資活動全体として7億4千1百万円の支出となり、前第3四半期連結累計期間と比べて7億1千3百万円の減少（前年同期比49.0%減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、短期借入金の純収入額1億9千3百万円、長期借入金の返済による支出9億8千万円等により、財務活動全体として前第3四半期連結累計期間と比べて資金が7億5千6百万円の増加から10億2千7百万円の減少（前年同期比-）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今期、通期の見込みにつきましては、当第4四半期会計期間以降におきましても、不安定な為替の動向、設備投資の抑制、消費の低迷、デフレの進行など、依然として厳しい状況が見込まれます。当社グループといたしましては、引き続き生産効率の向上、海外生産の強化等による原価の低減を積極的に推進していく予定であり、平成21年10月29日発表の「平成22年3月期 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしました平成22年3月期の連結通期の業績予想を本日、平成22年1月29日に変更しております。

今後、国内外での更なる景気動向等、これまで以上に事業環境が大きく変化し、今後の業績予想数値に修正が生じる場合は速やかに開示する予定であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ①当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
- ②原価差異の配賦方法については、予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に事業の種類別セグメント区分により実施する方法によっております。
- ③海外連結子会社についての税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,628,837	2,852,770
受取手形及び売掛金	6,556,547	5,694,917
商品及び製品	572,504	648,556
仕掛品	609,614	775,820
原材料及び貯蔵品	1,044,634	945,120
未収入金	254,782	193,965
未収還付法人税等	64,198	—
繰延税金資産	29,870	152,017
その他	127,774	125,207
貸倒引当金	△681	△752
流動資産合計	12,888,082	11,387,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,600,357	2,821,503
機械装置及び運搬具（純額）	2,887,512	3,349,876
土地	1,298,379	1,298,379
建設仮勘定	117,680	17,091
その他（純額）	884,458	947,865
有形固定資産合計	7,788,388	8,434,715
無形固定資産	273,389	302,688
投資その他の資産		
投資有価証券	343,497	382,002
繰延税金資産	126,559	136,050
その他	79,058	79,839
貸倒引当金	△19,460	△19,460
投資その他の資産合計	529,655	578,432
固定資産合計	8,591,433	9,315,836
資産合計	21,479,515	20,703,460

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,735,095	3,102,505
短期借入金	1,045,754	889,181
1年内返済予定の長期借入金	817,356	1,195,830
未払法人税等	97,720	429,258
賞与引当金	84,113	155,132
繰延税金負債	2,804	—
その他	745,222	651,911
流動負債合計	7,528,066	6,423,819
固定負債		
長期借入金	1,606,319	2,208,586
繰延税金負債	254	382
退職給付引当金	433,990	435,649
役員退職慰労引当金	157,203	164,581
負ののれん	104,332	135,362
その他	7,334	6,342
固定負債合計	2,309,434	2,950,903
負債合計	9,837,501	9,374,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	8,637,617	7,853,375
自己株式	△254,895	△204,739
株主資本合計	12,807,394	12,073,309
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,066	△53,682
為替換算調整勘定	△1,719,990	△1,256,843
評価・換算差額等合計	△1,733,056	△1,310,526
少数株主持分	567,676	565,955
純資産合計	11,642,014	11,328,738
負債純資産合計	21,479,515	20,703,460

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	20,819,938	17,070,565
売上原価	17,009,447	13,739,998
売上総利益	3,810,490	3,330,566
販売費及び一般管理費	2,547,512	1,906,871
営業利益	1,262,977	1,423,695
営業外収益		
受取利息	23,565	8,431
受取配当金	5,670	4,688
為替差益	46,351	11,448
負ののれん償却額	51,364	42,273
その他	64,443	51,955
営業外収益合計	191,395	118,797
営業外費用		
支払利息	48,881	32,896
手形売却損	3,740	—
その他	17	324
営業外費用合計	52,639	33,221
経常利益	1,401,733	1,509,270
特別利益		
貸倒引当金戻入額	40	70
固定資産売却益	2,991	544
特別利益合計	3,031	615
特別損失		
固定資産売却損	1,674	117
固定資産除却損	10,053	6,627
投資有価証券売却損	—	2
投資有価証券評価損	48,541	92,162
ゴルフ会員権評価損	600	—
特別損失合計	60,869	98,910
税金等調整前四半期純利益	1,343,896	1,410,975
法人税等	464,334	397,012
少数株主利益	114,822	62,330
四半期純利益	764,739	951,632

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,343,896	1,410,975
減価償却費	1,124,184	1,140,902
のれん償却額	11,243	11,243
負ののれん償却額	△51,364	△42,273
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	51,573	4,063
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	323	△7,377
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,976	△69,052
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△40	△70
受取利息及び受取配当金	△29,235	△13,119
支払利息	48,881	32,896
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	2
投資有価証券評価損益 (△は益)	48,541	92,162
ゴルフ会員権評価損	600	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1,316	△427
有形固定資産除却損	10,053	6,627
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,782,043	△968,601
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△242,665	68,565
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,213,228	1,701,217
未払消費税等の増減額 (△は減少)	31,908	49,999
その他	198,374	△59,395
小計	△100,836	3,358,337
利息及び配当金の受取額	28,661	13,747
利息の支払額	△50,128	△31,965
法人税等の支払額	△146,262	△636,947
法人税等の還付額	130,789	586
特別退職金の支払額	—	△7,345
移転費用の支払額	—	△15,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137,776	2,680,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△392,023	△584,875
定期預金の払戻による収入	444,133	598,986
有形固定資産の取得による支出	△1,396,790	△728,877
有形固定資産の売却による収入	9,741	2,255
無形固定資産の取得による支出	△15,917	△23,005
投資有価証券の取得による支出	△94,699	△5,906
投資有価証券の売却による収入	—	9
その他	△8,594	287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,454,152	△741,126

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	789,401	193,553
長期借入れによる収入	1,400,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,220,819	△980,741
自己株式の取得による支出	△200	△50,156
配当金の支払額	△209,300	△167,391
少数株主からの払込みによる収入	124,712	—
少数株主への配当金の支払額	△123,814	△18,634
その他	△3,063	△4,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	756,916	△1,027,561
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90,072	△121,611
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△925,085	790,178
現金及び現金同等物の期首残高	2,425,197	2,463,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,500,112	3,253,884

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位：千円)

	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,840,446	2,700,477	279,014	20,819,938	—	20,819,938
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,906	93,208	6,525	121,641	(121,641)	—
計	17,862,353	2,793,685	285,540	20,941,579	(121,641)	20,819,938
営業利益又は 営業損失(△)	1,001,663	282,247	△20,932	1,262,977	—	1,262,977

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) プラスチック成形事業……プラスチック成形部品及び金型
- (2) 精密プレス部品事業……精密プレス部品及び金型
- (3) プリント基板事業……プリント基板

3 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、機械及び装置の耐用年数については法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産について耐用年数を短縮して減価償却費を算定する方法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が「プラスチック成形事業」で2,138千円、「精密プレス部品事業」で5,305千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	14,521,260	2,342,902	206,402	17,070,565	—	17,070,565
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,925	101,751	5,037	128,714	(128,714)	—
計	14,543,185	2,444,653	211,440	17,199,279	(128,714)	17,070,565
営業利益又は 営業損失(△)	1,098,148	326,716	△1,169	1,423,695	—	1,423,695

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な製品

- (1) プラスチック成形事業……プラスチック成形部品及び金型
- (2) 精密プレス部品事業……精密プレス部品及び金型
- (3) プリント基板事業……プリント基板

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

(単位:千円)

	日本	アジア地域	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	16,212,404	4,607,533	20,819,938	—	20,819,938
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	244,066	3,013,777	3,257,843	(3,257,843)	—
計	16,456,470	7,621,311	24,077,782	(3,257,843)	20,819,938
営業利益	573,533	718,902	1,292,436	(29,458)	1,262,977

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

アジア地域……ベトナム国、シンガポール国、中華人民共和国、マレーシア国

3 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、機械及び装置の耐用年数については法人税法の改正を契機として見直しを行い、一部の資産について耐用年数を短縮して減価償却費を算定する方法に変更しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」の営業利益は7,443千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位:千円)

	日本	アジア地域	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	12,595,148	4,475,416	17,070,565	—	17,070,565
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	210,752	1,279,026	1,489,779	(1,489,779)	—
計	12,805,901	5,754,443	18,560,344	(1,489,779)	17,070,565
営業利益	756,046	654,400	1,410,446	13,248	1,423,695

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

アジア地域……ベトナム国、シンガポール国、中華人民共和国、マレーシア国

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア地域	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	4,499,818	95,775	4,595,594
II 連結売上高(千円)	—	—	20,819,938
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	21.6	0.5	22.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域……東南アジア及び東アジア諸国

(2) その他の地域……ヨーロッパ諸国及び中南米諸国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア地域	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	4,327,889	72,012	4,399,901
II 連結売上高(千円)	—	—	17,070,565
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	25.4	0.4	25.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア地域……東南アジア及び東アジア諸国

(2) その他の地域……ヨーロッパ諸国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

該当事項はありません。